

## ベクトルの外積

2つのベクトルから1つの実数を生み出す演算である「内積」に対し、2つのベクトルから1つのベクトルを生み出す演算である「外積」を定義し、その利用方法を紹介します。

### ◆定義◆

ベクトル  $\vec{a}=(a_1, a_2, a_3), \vec{b}=(b_1, b_2, b_3)$  に対し、

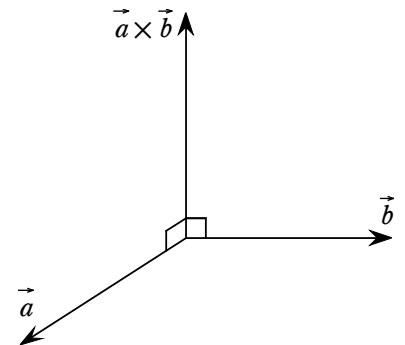
ベクトル  $(a_2b_3 - a_3b_2, a_3b_1 - a_1b_3, a_1b_2 - a_2b_1)$  を  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  の外積とよび、 $\vec{a} \times \vec{b}$  と書く。

このとき、次のことが成り立ちます。

$$(1) \vec{a} \times \vec{b} = -\vec{b} \times \vec{a}$$

(2)  $\vec{a} \times \vec{b}$  は  $\vec{a}, \vec{b}$  のそれぞれに垂直である。

$$(3) |\vec{a} \times \vec{b}|^2 = |\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 - (\vec{a} \cdot \vec{b})^2$$



〔証明〕

$$(1) \text{定義から, } \vec{a} \times \vec{b} = (a_2b_3 - a_3b_2, a_3b_1 - a_1b_3, a_1b_2 - a_2b_1)$$

$$\vec{b} \times \vec{a} = (b_2a_3 - b_3a_2, b_3a_1 - b_1a_3, b_1a_2 - b_2a_1)$$

$$\therefore \vec{a} \times \vec{b} = -\vec{b} \times \vec{a}$$

$$(2) (\vec{a} \times \vec{b}) \cdot \vec{a} = (a_2b_3 - a_3b_2, a_3b_1 - a_1b_3, a_1b_2 - a_2b_1) \cdot (a_1, a_2, a_3)$$

$$= (a_2b_3 - a_3b_2)a_1 + (a_3b_1 - a_1b_3)a_2 + (a_1b_2 - a_2b_1)a_3$$

$$= 0 \quad \text{同様にして, } (\vec{a} \times \vec{b}) \cdot \vec{b} = 0$$

よって、 $\vec{a} \times \vec{b}$  は  $\vec{a}, \vec{b}$  のそれぞれに垂直である。

$$\begin{aligned} (3) |\vec{a} \times \vec{b}|^2 + (\vec{a} \cdot \vec{b})^2 &= (a_2b_3 - a_3b_2)^2 + (a_3b_1 - a_1b_3)^2 + (a_1b_2 - a_2b_1)^2 + (a_1b_1 + a_2b_2 + a_3b_3)^2 \\ &= (a_2^2b_3^2 + a_3^2b_2^2) + (a_3^2b_1^2 + a_1^2b_3^2) + (a_1^2b_2^2 + a_2^2b_1^2) + (a_1^2b_1^2 + a_2^2b_2^2 + a_3^2b_3^2) \\ &= (a_1^2 + a_2^2 + a_3^2)(b_1^2 + b_2^2 + b_3^2) \\ &= |\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 \quad \therefore |\vec{a} \times \vec{b}|^2 = |\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 - (\vec{a} \cdot \vec{b})^2 \end{aligned}$$

<外積の応用>

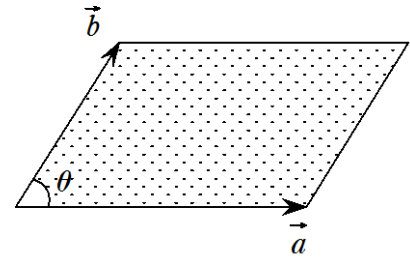
★ (2)の性質から、空間内の2つのベクトルに対し、その両方に垂直なベクトルを求めたい場合には、外積を計算すればよいことがわかります。垂直なベクトルが1つ見つければ、そのベクトルを実数倍したベクトルも垂直になります。

★ (3)の性質から次のことがわかります。

$\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角を  $\theta$  ( $0 \leq \theta \leq \pi$ ) とすると、

$$\begin{aligned} |\vec{a} \times \vec{b}|^2 &= |\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 - (\vec{a} \cdot \vec{b})^2 \\ &= |\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 (1 - \cos^2 \theta) \\ &= |\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 \sin^2 \theta \end{aligned}$$

$$\therefore |\vec{a} \times \vec{b}| = |\vec{a}| |\vec{b}| \sin \theta$$



したがって、 $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  の張る平行四辺形の面積が  $|\vec{a} \times \vec{b}|$  となります。

★ 3点  $O(0, 0)$ ,  $A(x_1, y_1)$ ,  $B(x_2, y_2)$  を頂点とする三角形  $OAB$  の面積  $S$  は

$S = \frac{1}{2} |x_1 y_2 - x_2 y_1|$  となることを外積の計算を利用して確認します。

$O, A, B$  は  $xy$  平面上の点ですが、これを  $xyz$  空間の座標で表せば、

$O(0, 0, 0)$ ,  $A(x_1, y_1, 0)$ ,  $B(x_2, y_2, 0)$  であり、

$\vec{OA} = (x_1, y_1, 0)$ ,  $\vec{OB} = (x_2, y_2, 0)$  の張る平行四辺形の面積は、外積計算により

$$\begin{aligned} |\vec{OA} \times \vec{OB}| &= |(y_1 \cdot 0 - 0 \cdot y_2, 0 \cdot x_2 - x_1 \cdot 0, x_1 \cdot y_2 - x_2 \cdot y_1)| \\ &= |(0, 0, x_1 y_2 - x_2 y_1)| \\ &= \sqrt{0^2 + 0^2 + (x_1 y_2 - x_2 y_1)^2} \\ &= |x_1 y_2 - x_2 y_1| \end{aligned}$$

であることから、三角形  $OAB$  の面積  $S$  はその半分なので  $S = \frac{1}{2} |x_1 y_2 - x_2 y_1|$  となります。